

CNJ

Know (≠No) More Cancer 私たちは、もっと伝えたい

Speakers



No.
17

もっと知ってほしい CNJ のこと
皮下埋め込み型ポート意識調査結果 / News / Report
病院のスタッフの皆様へ / Event Schedule
啓発リボンについて / 海外がん医療 TOPICS

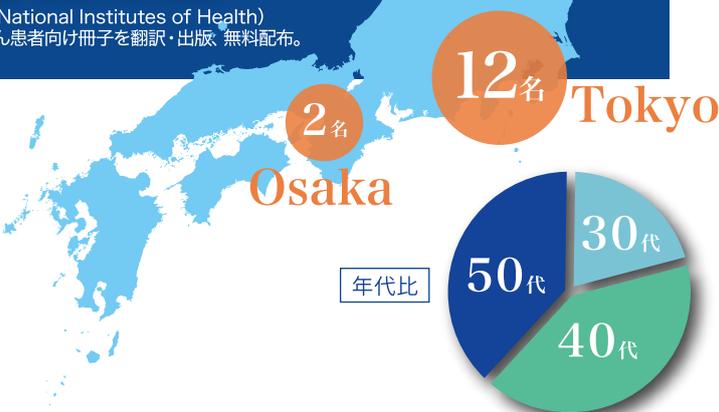
キャンサーネットジャパンのこと

「正しいがん情報発信」をミッションに掲げた活動は、
2018年、27年目を迎えました。なぜ、正しいがん情報が必要なのか？
CNJって、どんな団体なの？ 活動紹介をさせていただきます。

1991年から活動！

当時「がん告知」が議論されていた日本で
インフォームドコンセントの
先駆けとなりました。

1991年 NIH (National Institutes of Health)
許可の下、乳がん患者向け冊子を翻訳・出版 無料配布。



キャンサーネットジャパン(以下、CNJ)は、
東京と大阪の2か所に事務局を構え、東京12名、
大阪2名、計14名のスタッフで活動をしています。
スタッフは、がん体験者、家族、遺族などの立
場で構成されています。多くのスタッフが、がん
を身近に感じており、溢れるがん情報に翻弄され
た経験をした者も少なくありません。がん患者さ
ん、ご家族に寄り添った活動をしたと日々、仕
事と向き合っています。

誰しも、自分や大切な人ががんになるなんて
縁起でもない、考えないようにしていませんか？
か？そんな中、がん告知をされると、誰もが
不安で慌ててしまい、普段ならできていた冷静
な判断ができなくなります。正しい情報の見分
け方も分からなくなり、怪しい情報に飛びつい
てしまうこともあります。

CNJは、がんの正しい情報を知ることが、
頭の中の整理につながり、心の安定につながる
と考えています。

同じように、患者さんに正しい情報を知っ
てほしいと願う医師、看護師、薬剤師などの
医療者や、患者会、支援団体と連携し、情報
発信を行っています。

文／濱島明美
写真／山本華漸

私たちのミッション(使命)は、

がん患者が本人の意思に基づき、治療に臨むことができるよう、
患者擁護の立場から、科学的根拠に基づくあらゆる情報発信を
行うことです。

私たちのヴィジョン(夢)は、

がん体験者・家族・遺族、その支援者、医療者と共に、
日本のがん医療を変え、がんになっても生きがいのある社会を
実現することです。



スタッフから

1997年、南雲吉則先生、吉田和彦先生がCNJの前身(キャンサー・ファックス)を立ち上げると同時に、私もそれ以来、共に活動して参りました。当時は海外のガイドラインを有志が集まって翻訳し、日本語訳を希望される方々にFAXしていました。また、患者さんやご家族のさまざまながん相談に、セカンド・オピニオンとしてFAXでお応えしておりました。現在では、わが国のガイドラインも充実し、海外のガイドライン情報もネットで検索することができます。また、がん診療拠点病院にはセカンド・オピニオン外来が常設されるような時代となり、初期のCNJの役割は完全に終了しました。現在のCNJの役割は、溢れる情報の中で、がん患者さんと家族に正しい情報を入手していただくと考えています。そのため、CNJでは「もっと知ってほしい」冊子シリーズ発行や、セミナー開催、WEBサイト公開などさまざまな形で、正しい情報の発信を行っています。ご自身の「がんの情報」を正しく知る。知識は「力」になると我々は考えています。ぜひCNJを利用して、正しい情報を入手してください。



岩瀬 哲
Iwase Satoru
キャンサーネットワークジャパン
理事長



古賀 真美
Koga Mami
キャンサーネットワークジャパン
プロジェクトマネージャー

2002年、弟が急性リンパ性白血病と診断され、私が造血幹細胞移植のドナーになった経験から、患者さん・ご家族・ドナーのサポートをするようになりました。当時はそれほどインターネットも普及していなかったので、白血病や移植治療の情報を得るのは難しく、同じ病気を経験された方を探したりして必死で情報を探したものです。そのときから、後から続く患者さんやご家族が、私達のように困ったり悩んだりしないように、先人として問題解決型の相談支援をしようと思いました。CNJへ入職して5年。これまではCNJでなかなか取り組めなかった血液がんの領域も、昨年はビデオで学ぶプログラムや、白血病の冊子が作成しました。今年も更に役立つ支援ツールを充実させて行く予定です。

2002年、29歳の誕生日に乳がんが見つかりました。当時、子どもは6歳、4歳でした。“20代で、経産婦なのになんで自分が？”という思いがずっとあり、がんを受け入れることができたのはずっと後でした。抗がん剤治療で、髪もすべて抜けました。外見の変化は自分も不安になりますが、同様に家族や職場の人も不安にさせてしまいがちです。がん患者は、働けないんじゃないか、すぐ死んでしまうんじゃないか、などの思い込みも、正しいがん情報を知ってもらうことで、患者さん一人ひとりの課題は異なると思いますが、解決の糸口になると思います。



濱島 明美
Hamashima Akemi
キャンサーネットワークジャパン
プロジェクトマネージャー

大阪事務局



Knowledge is power
Information is power

矢野 朋子



患者一人一人が正しい情報を見極める力を持ち患者力を上げる！知ることこそ力なり！

水野 洋美



Dead or alive.
Can't live in the past.

橋本 真由美



患者さん自身やご家族が、正しい情報の見極め方を理解すれば、自分たちが主体となって治療を選択することができます。そのために私たちは「科学的根拠のある」情報を伝え、患者さんやご家族には「正しい情報の見つけ方」を身につけてほしいと思っています。趣味は料理(特にグリーンカレー)とお酒です。

木原 康太
Kimura Kenta
キャンサーネットワークジャパン 事務局長



血液がん(臍帯血移植後)や看護師の経験を生かして頑張ります！

池田 明香



「患者力」を高めたい、そう思って病院薬剤師から転職して早や5年

江洲 恵子



がん患者さんの足を照らす”灯り”のような存在でありたいです。

大友 明子



学ぶとは何かが変わること。どこから学ぶ？誰から変わる？

福田 裕子



卯年の二児のママです。入社したばかりですが、頑張ります。

小野寺 直子



がん患者になったときの思いを忘れずに、正しい情報へ導くお手伝いをします。

藤原 麻子



主に裏方で活動をサポートしています！ネコと本が好き。

荒地 洋子



不定期で勤務しています。超微力ながら、知ることのお手伝いが出来れば、と思っています。

長谷川 和枝

イベント運営・発送作業など、
たくさんのボランティアさんに
支えられています！
ボランティアになりたい！など
お問い合わせは info@cancernet.jpへ



がんに関わるさまざまな情報発信をしています！

WEBサイト、セミナー開催、冊子など、さまざまな形で情報発信や、仲間と集える機会を提供しています。是非、ご利用ください！

■がんに関わる治療情報をWEBサイト・セミナー・冊子にて発信

 <p>大腸がん (ブルーリボンキャンペーン) セミナー・WEB・冊子・グッズ</p>	 <p>胃がん セミナー・WEB・冊子・グッズ</p>	 <p>子宮頸がん (ティール&ホワイトリボン) WEB・冊子・グッズ</p>
 <p>肺がん セミナー・WEB・冊子</p>	 <p>前立腺がん セミナー・WEB・冊子</p>	 <p>オレンジリボンがんデー 血液がん WEB・冊子</p>
 <p>小児がん WEB</p>	 <p>皮膚がん WEB</p>	 <p>乳房再建 WEB</p>
 <p>妊孕性 WEB</p>	 <p>がんと生活 WEB 心のケア・医療制度・容姿の変化など</p>	 <p>がんと栄養 WEB・冊子 がん治療を乗り切るからだ作り</p>

■がんフォーラム

がんを「知り」「学び」「集う」ことを目的とした、最新がん医療フォーラム

 <p>ジャパンがんフォーラム (東京開催)</p>	 <p>Jump Over Cancer ちやまちがんフォーラム (大阪開催)</p>
--	---

CancerChannel

がんチャンネル
WEB
正しいがん情報がここに
WEB動画が1600本以上

■がん情報ステーション

がん体験者やCNJプロフェッショナルボランティアによる、少人数でのプログラム

<p>【東京事務局プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BEC (乳がん体験者コーディネーター) によるおしゃべりサロン ・PinkRing プロデュース 若年性乳がんのスマールミーティング ・がん体験者向けアロマテラピー講座 ・乳房再建のスマールミーティング 	<p>【大阪事務局プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳がんサバイバーによる個別相談 ・前立腺がん相談室 (個別相談) ・精巣腫瘍サバイバーによる個別相談・個別訪問 ・若年性乳がん患者のためのおしゃべり会
---	--

■養成講座

がんの基礎知識を学ぶことができるウェブ講座

 <p>BEC Breast cancer Experienced Coordinator 乳がん体験者コーディネーター (BEC) 養成講座 乳がん医療情報のエキスパートになる</p>
 <p>CSS Cancer Survivor Speaker がん体験者スピーカー (CSS) 養成講座 自分のがん体験を多くの人に伝える</p>
 <p>CCN CNJ Cancer Navigator がん情報ナビゲーター認定試験 認定試験にチャレンジ!</p>

<p>もっと知ってほしいシリーズ冊子25種 (2018年1月現在)</p>	<p>がん体験者によるピアサポート (神奈川県)</p>	<p>Over Cancer Together サバイバースピーキングセミナー サバイバーの声を社会を変える力になる</p>
<p>講師派遣 (がん体験者・CNJスタッフなど)</p>	<p>医療用かつらデイリース (男性・女性・子供用)</p>	<p>小児がん・AYA世代のがん支援のレモネードスタンド 募金は小児がんの治療研究支援や小児がんや若いがん患者さんへの新古ウィッグプレゼントに活用</p>

Know (#No) More Cancer®

もっとがんを、知ることからはじめませんか？

※Know (#No) More Cancer は、キャンサーネットジャパンの商標です。

目標 Goal of CancerNet Japan

1 自分らしく生きる

がんになって、将来に不安を覚えたり、何かを諦めなければいけない、そう思ったりしていませんか？
不安になること、怖くなること、それは当たり前のことです。
でも、病気との上手な付き合い方、それは正しいがん情報を知ること
みえてくるはずです。

2 適切な治療を受ける

世の中には、玉石混交のがん情報が溢れています。
また、親戚の方から民間療法を勧められたり…。
そんなとき、正しいがん情報を知っていれば、その治療は本当に自分が
望む結果になるのか、冷静に判断することができるはずです。

3 偏見のない社会

今や日本人の2人に1人が生涯のうち「がん」になる時代です。^(※)
でも、どこかで「自分がなるはずがない」と他人事で、
がんへの偏見や間違った認識はまだ多いのが事実です。
誰もが正しいがん情報を知ること、がんに対する認識は変わり、
偏見のない暮らしやすい社会になるでしょう。

(※)厚生労働省 人口動態統計より

がん患者さん、ご家族のよりよい生活の質のために、CNJ は正しいがん情報を発信し続けます。

「正しいがん情報の提供」は、
社会になにをもたらせるか？

そして、2025年へ。

2025年の日本は、団塊の世代が75歳を超えて後期高齢者となり、国民の3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上という、人類が経験したことのない『超・超高齢社会』を迎えます。ますます患者さんに寄り添った情報提供が求められて行くのではないのでしょうか。我々CNJは、さらに分かりやすい情報発信を課題にして行きたいと考えています。「もっと知りたい」冊子シリーズはがんの種類と同じ数だけ発行したいと考えています。100種類ほどの発刊を目指したい。また、各がん種のセミナーも、日本全国どこに患者さん家族が住んでおられても、正しいがん情報が届くように、47都道府県で開催したいと考えています。患者さん、ご家族、医療者、企業の方、立場は違っても同じ志をもつ方々と一緒に、これからも活動を行きたいと考えております。



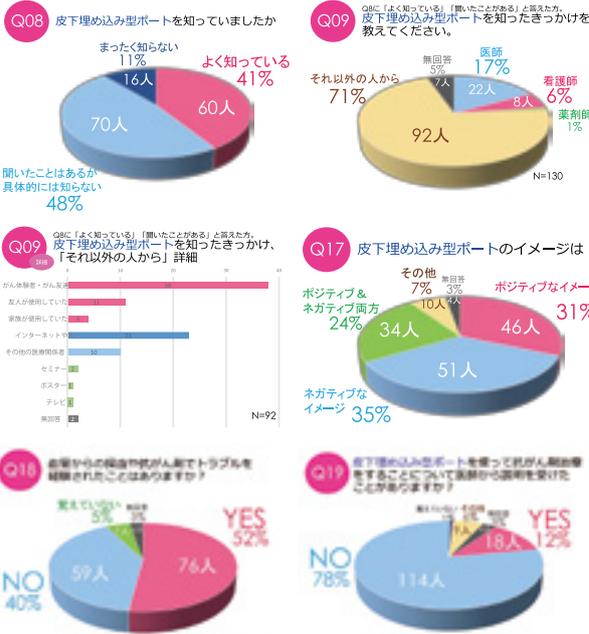
乳がん体験者コーディネーター(BEC)認定者に 対する皮下埋め込み型ポート意識調査を実施

現在、多くのがん患者さんが、点滴にて抗がん剤治療を受けています。しかし、採血や点滴を行う際、血管が細い、脆いなどの理由から、何度も針を刺し直す、痛みを伴うなどの支障が出る場合があります。がん患者さんの医療環境向上に寄与するため、意識調査を企画・実施いたしました。

アンケート概要

- 実施期間：2017年10月25日～2017年11月13日
- 対象：乳がん体験者コーディネーター(BEC)認定者
- 回答者数：154人(有効回答者数146人)
- 調査方法：インターネット
- 協力：株式会社メディコン

※乳がん体験者コーディネーター(BEC)認定者とは、CNJが主催する『乳がん体験者コーディネーター養成講座』修了者。この講座は、信頼性の高い情報にアクセスし提供できる能力を習得し、必要に応じて他の専門家と連携しながら、がん患者・がん医療環境向上に対して積極的に関わる人材を育成することを目的としています。修了生は、ピアサポートや患者会など幅広い方面で積極的に活動をしています。



皮下埋め込み型ポートのイメージ回答(一部抜粋)

- 「点滴が楽」
- 「血管が固くなって、血管が使えない場合、患者さんにとっても医療者にとっても抗がん剤を使用する時には、便利なものだと思います。」
- 「痛そう。体力が落ちた人に使うもの。」
- 「身体に異物が入っているわずらわしさ」
- 「腕の血管が使えなくても点滴が可能。えりの空気が広い服は着れない。」
- 「ポートを埋め込む時に手術が必要」
- 「感染症のリスクがある」



皮下埋め込み型ポートとは、血管内に薬剤を注入するための医療機器です。ポートは完全に皮膚の下に埋め込まれ、抗がん剤治療の際、そこから薬剤を投与することができます。

皮下埋め込み型ポートの認知度と、きっかけ

●BEC認定者の89%の人が、皮下埋め込み型ポートを知っていた。

●知ったきっかけは、医療者から知った人は24%にとどまり、がん体験者やがん友達、家族などから情報を得た人が多かった。

抗がん剤治療歴と、皮下埋め込み型ポート使用経験

●BEC認定者の64%の人が点滴を使用した抗がん剤治療の経験はあるが、皮下埋め込み型ポート使用経験者は11%だった。

使用経験者(16人)の69%の人がQOLの向上を感じていたが、異物感、邪魔に感じる、見た目が気になる人、気にならない人がそれぞれ約過半数であった。

●使用経験者の81%の人が、仮に再度治療をするとしたら皮下埋め込み型ポートを使用したいと答えた。

皮下埋め込み型ポートのイメージや情報

●BEC認定者の52%が、「血管が細い」「何度も失敗された」などの血管からの採血や抗がん剤治療でトラブルを経験しているが、医師から皮下埋め込み型ポートの説明を受けたことがある人は12%にとどまった。

●皮下埋め込み型ポートのイメージは、ポジティブ、ネガティブ、その両方のイメージが各3割程度となり、「怖い・痛い」「異物」「感染症」「進行がん」などのキーワードが見られ、今後、使ってみたいと思うかは「わからない」という回答が54%であった。ピアサポート、患者会などの活動をしているBEC認定者に正しい情報が知られていないということは、一般の患者さんには更に知られていないと推測される。皮下埋め込み型ポートの情報を正しく伝えることが急務であると考えられる。

アンケート結果はこちら▶ <http://www.cancernet.jp/investigation/cvport2017>

これから化学療法を受けられるみなさまへ

化学療法サポート

Chemotherapy Support

株式会社メディコン

がんの痛みを我慢しない・させない。患者版がん疼痛ガイドの最新版!

患者さんと家族のためのがんの痛み治療ガイド 増補版

特定非営利活動法人日本緩和医療学会・ガイドライン統括委員会 編

◆B5判 128頁 オールカラー ◆定価(本体1,400円+税)

金原出版 <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

がん患者・家族向け冊子 『もっと知ってほしい白血病のこと』作成

白血病は血液がんの一種で、血液が作られる過程で遺伝子や染色体に傷がつくことで発症します。主に急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病の4種類があり、それぞれ病気のタイプにより治療法が異なります。近年、血液がんの治療の進歩は目覚ましく、中でも慢性骨髄性白血病の治療成績は飛躍的に改善しました。

『もっと知ってほしい白血病のこと』は、近畿大学医学部 血液・膠原病内科 主任教授 松村到先生監修のもと、白血病の各疾患概要から、検査法、標準的治療法、副作用等について、白血病患者や家族、患者支援に携わる方々が知っておきたい情報を、20ページにまとめています。また、白血病患者さんによる体験談を『Patient's Voice (患者の声)』として掲載しています。



検査、治療、移植など詳細に解説しています

- がん医療情報サイト「がんチャンネル」
<http://www.cancerchannel.jp>
- 血液がんの特設サイト「もっと知ってほしい血液のがんのこと」
<http://www.cancernet.jp/hematologiccancer/frontpage>
からも無料でダウンロードが可能です。

2018年1月がんインターネットジャパン WEBサイトリニューアルしました!

がん患者さん、ご家族にCNJのWEBサイトを活用していただくために、セミナーやイベント情報や、開催レポートがより見やすくなりました!各種イベントへのお申し込み、講演動画の視聴、もっと知ってほしい冊子シリーズの閲覧やダウンロードなど、さまざまながんに関する情報を掲載しています。今すぐアクセスください!



URLは変わりません
がんインターネットジャパン 検索

「がんと栄養のこと」WEBサイト がん患者さんの「食べたい!」を支える レシピ集を掲載

がん治療中の、「食欲不振」「吐き気」「味覚障害」「口内炎」「下痢」などの症状に合わせた和食・洋食・中華・デザートなどを紹介しています。



総合監修はがん研有明病院の
比企直樹先生。
おいしそうなレシピがいっぱい!
がんと栄養 検索

小児がん・AYA世代のがん支援 「レモネードスタンド」 2017年は、 全国約100か所にて開催!

レモネードスタンドとは、アメリカの自らも小児がんを闘う女の子が自宅の庭で始めた小児がん治療研究支援の募金活動です。日本でも、全国の小学生から大学生・企業・一般の方など、さまざまな立場の人たちが小児がん支援のためにレモネードスタンドを開催してくれています!アメリカの女の子のお話は、日本の中高生向け英語の副教材にもなり、多くの中高生が開催してくれています。



レモネードスタンドの輪が広がっています。詳しいレポートはウェブへアクセス!

レモネードスタンドジャパン 検索



5周年

JCF 2018

ジャパンキャンサーフォーラム @ 築地

がんを「知り」、「学ぶ」、「集う」

がん患者さんやご家族のための日本最大級のがんフォーラム

5年目を迎える2018年のジャパンキャンサーフォーラムは、

国立がん研究センター 新研究棟にて開催いたします！

大腸がん、胃がん、乳がん、肺がん、前立腺がんの5大がんのほか、情報が得にくい、罹患患者数が少ないがん、お金のことや、就労、栄養など、生活周りの情報もお届けする予定です。是非、ご来場ください。

開催日時

Japan Cancer Forum 2018

2018年 8月11日(土)・12日(日)

国立がん研究センター 築地キャンパス 新研究棟

※国立がん研究センター中央病院の奥にある建物です

5年目を迎える2018年は、
国立がん研究センター
新研究棟

にて
開催いたします



詳細は、

ジャパンキャンサーフォーラム

検索



2017年は、2006名の方に
ご来場いただきました！

■2017年の主な内容

大腸がん、胃がん、乳がん、肺がん、前立腺がん、すい臓がん、頭頸部がん、肝臓がん、皮膚がん、子宮頸がん、子宮体がん、中皮腫、血液がん、小児がん、漢方、免疫療法、口腔ケア、乳房再建、臨床試験、緩和ケア、就労、少人数相談室、など。患者会・企業ブース展示、マイクアップ&フォトプログラム、レモネードスタンドなど。

講義動画を無料で公開していますので、是非、ご覧ください。



<http://www.cancernet.jp/jcf>

2017年10月20日(金)
ブルーリボンキャンペーン
アンバサダーサミット 2017



アンバサダー(大使)同士の
情報共有と連携をはかり、大腸がんの啓発活動を推
進することを目的とし、毎年開催しています。2017
年のブルーリボンキャラバン(市民公開講座)開催報
告、癌治療学会での発表内容共有をおこないました。



BLUE RIBBON CAMPAIGN

ブルーリボンキャンペーン

大腸がん疾患啓発活動 ~もっと知ってほしい大腸がんのこと~

動画をWEBにて公開しています

2017年11月5日(日)
ブルーリボンキャラバン in 札幌
北海道大学病院 市民公開講座
会場:北海道大学 学術交流会館
来場者数:306名



プログラム		総合司会: 松本 裕子 (札幌 北海道文化放送 健康キャスター)
13:00-13:05	開会挨拶	演者 明美 認定 NPO 法人 キャンサーネットジャパン
13:05-13:15	講演① 大腸がんでどんな病気?	講演者① 久須美 貴枝 聖恵会札幌病院 外科 副院長・外科主任部長 (ブルーリボンキャンペーンアンバサダー)
13:15-13:45	講演② 大腸がんに対する内視鏡検査と治療	中川 幸一 中川内視鏡科 札幌 北海道大学病院 消化器内視鏡科 客員臨床教授 (ブルーリボンキャンペーンアンバサダー)
13:45-14:15	講演③ 大腸がんの外科的治療と今後の生活	本郷 龍紀 北海道大学病院 消化器外科
14:15-14:25	休憩	質疑応答
14:25-14:55	講演④ 大腸がんの薬物療法(抗がん剤・分子標的薬)	小松 麗人 北海道大学病院 腫瘍センター 診療教授 (ブルーリボンキャンペーンアンバサダー)
14:55-15:05	情報提供① がん相談支援センターになんでもご相談ください	石崎 明子 北海道大学病院 看護部長 がん相談支援センター 相談員 がん看護専門看護師
15:05-15:15	情報提供② ストーマとの上手なお付き合い	林 みゆき 北海道大学病院 看護部長 がん相談支援センター 認定看護師
15:15-15:25	情報提供③ 痛みや不安を我慢しないで、緩和ケアチームがそばにいます	渡辺 結衣 北海道大学病院 看護部長 緩和ケアチーム 緩和科
15:25-15:35	休憩	質疑応答
15:35-16:15	Q&A	Q&A トークセッション(会場からの質問票にお答えします) パネリスト: 演者の各先生
16:15-16:20	閉会挨拶	小松 麗人 北海道大学病院 腫瘍センター 診療教授 (ブルーリボンキャンペーンアンバサダー)

2017年9月2日(土)
ブルーリボンキャラバン in 高知
高知大学 市民公開講座
会場:高知県民文化ホールグリーンホール 来場者数:360名



プログラム		総合司会: 中井 美穂 (フリーアナウンサー)
13:00-13:05	開会挨拶	演者 明美 認定 NPO 法人 キャンサーネットジャパン
13:05-13:30	講演① 大腸がんでどんな病気?—高知の大腸がんの現状、検診について—	小林 直也 高知大学医学部 外科 消化器外科 教授 高知大学医学部附属病院 がん治療センター 長 (ブルーリボンキャンペーンアンバサダー)
13:30-13:55	講演② 大腸内視鏡検査について—大腸がんの早期発見と治療のために—	水田 洋 高知大学医学部附属病院 内視鏡診療部 助産
13:55-14:20	講演③ 大腸がんの外科的治療と今後の生活	前田 広隆 高知大学医学部附属病院 がん治療センター 特任助産
14:20-14:30	休憩	質疑応答
14:30-14:55	講演④ 大腸がんの薬はどのようなものがあるの?	高木 舞 高知大学医学部附属病院 がん治療センター 副センター長
14:55-15:10	情報提供① ストーマとの付き合い方	高木 舞 高知大学医学部附属病院 看護部 消化器・泌尿器ケア認定看護師
15:10-15:25	情報提供② 制度利用等の支援について	前田 広隆 高知大学医学部附属病院 がん相談支援センター
15:25-15:35	休憩	質疑応答
15:35-16:05	ミニコンサート ☆星に願いを☆ —親子でお届けする、音楽のアPRESENT—	出演: 三浦朋 (サクソ、ドラム、ボーカル、ギター)
16:10-16:55	Q&A	Q&A トークセッション(会場からの質問票にお答えします) パネリスト: 小林 直也、水田 洋、前田 広隆、高木 舞、前田 美穂、飯塚 真二 (高知大学医学部附属病院 消化器外科 医員 (ブルーリボンキャンペーンアンバサダー))
16:55-17:00	閉会挨拶	小林 直也 高知大学医学部 外科 消化器外科 教授 高知大学医学部附属病院 がん治療センター 長 (ブルーリボンキャンペーンアンバサダー)

2017年7月2日(日)
ブルーリボンキャラバン in 呉
呉医療センター・中国がんセンター市民公開講座
会場:くれ絆ホール 来場者数:408名



プログラム		総合司会: 中川 圭 NPO 法人 広島がんサポート 副理事長
13:00-13:05	開会挨拶	大坂 秀樹 広島大学大学院医歯薬保健学研究科 消化器・痔腸外科 教授
13:05-13:20	講演① 大腸がんでどんな病気?顕微鏡で見ると大腸がん	山田 清己 呉医療センター・中国がんセンター 院長
13:20-13:40	講演② 大腸がんの見つけ方と内視鏡治療について	桑井 寿雄 呉医療センター・中国がんセンター 消化器内科 部長・内視鏡センター 長
13:40-14:00	講演③ 大腸がんの外科的治療と基礎研究	橋井 孝夫 呉医療センター・中国がんセンター 外科部長・分子腫瘍研究室 長
14:00-14:10	講演④ 大腸がんの手術後の生活	高木 舞 広島がんサポート (ブルーリボンキャンペーンアンバサダー)
14:10-14:20	情報提供① ストーマの上手なお付き合い—オーストラリアの生活をサポートします!	前田 聖子 呉医療センター・中国がんセンター 看護部 消化器認定看護師 ストーマ外来担当
14:20-14:35	休憩	質疑応答
14:35-14:50	講演⑤ 大腸がんの転移性肝腫瘍の外科的治療	田代 裕輝 呉医療センター・中国がんセンター 外科部長 がんセンター がん診療部 外科部長
14:50-15:20	講演⑥ 自分合った大腸がん薬物療法を選ぶためのヒント	橋井 孝夫 呉医療センター 中国がんセンター 内科部長 (ブルーリボンキャンペーンアンバサダー)
15:20-15:30	情報提供② 家族性の大腸がんと遺伝カウンセリング	橋井 孝夫 呉医療センター・中国がんセンター 外科部長・分子腫瘍研究室 長
15:30-15:45	休憩	質疑応答
15:45-16:25	Q&A	Q&A トークセッション(会場からの質問票にお答えします) パネリスト: 上記登壇者
16:25-16:30	閉会挨拶	高橋 祥徳 認定 NPO 法人 キャンサーネットジャパン



メルクセローノ株式会社は、ブルーリボンキャンペーンを支援しています!

ブルーリボンキャンペーン(BRC)の支援を通じて

メルクセローノ株式会社は、大腸がんの患者さんおよびご家族の方々への情報提供を目的に、ブルーリボンキャンペーン(BRC)を支援しています。この活動が「医療従事者から患者さんやご家族へ、大腸がんの正しい情報を伝える場となり、患者さんとご家族が正しい情報を知るきっかけのひとつ」となるよう、いわば、患者さん、ご家族、医療従事者の方々との間の「橋渡し」になればと願っています。

同時に、私たちにとっては、患者さん、ご家族の方々とのふれあいができる貴重な機会となっています。



2017年9月2日ブルーリボンキャラバンin高知会場にて撮影

今年で8年目

2011年の第1回市民公開講座から始まったBRCの活動は、すでに35回の市民公開講座を数えています。参加者の方々からのアンケート集計では、良い評価をいただいております。さらに2014年からは「アンバサダーサミット」を開催し、昨年で4回目の開催を迎えました。

8年目を向かえ、2018年も活動を継続していきますので、お近くで開催の際には市民公開講座に是非ご参加ください。

メルクセローノとは?

メルクセローノは、世界で最も歴史の長い医薬品・化学品企業であるドイツのメルクグループ(Merck KaGA)のバイオフィーマ部門です。本社をドイツのダルムシュタットに置くグローバルカンパニーであり、その起源は1668年までに遡り2018年で創業350年の歴史を持つ会社です。

メルクセローノでは、がん領域を最も注力すべき領域のひとつとして位置づけています。現在臨床現場にお届けしている抗EGFR抗体薬や抗PD-L1抗体薬の他にも、多くの抗悪性腫瘍剤を開発中です。

私たちは、がん領域の製品を通じ、患者さんQOL向上と、生存延長に貢献していきたいと考えています。

メルクセローノ株式会社
ホームページ
<http://www.merckserono.co.jp>



Activities Report 活動レポート

2017年10月20日～22日
 第55回日本癌治療学会学術集会@パシフィコ横浜にて啓発リボン
 ブース出展・デジタルポスター発表、パネルディスカッション登壇

■2017年10月20日(金) デジタルポスター発表

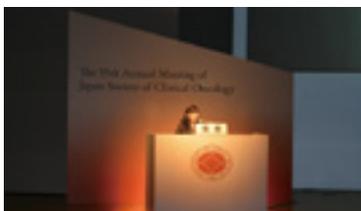
大腸がんの啓発活動「ブルーリボンキャラバン」の2012年～2016年の来場者アンケート結果を発表。個別化治療や、RAS遺伝子検査の認知度は低く、引き続き、日本各地で、正しい大腸がんの治療情報を学べる機会ブルーリボンキャラバン(市民公開講座)が必要だと考えます。



■2017年10月20日(金)～22日(日) 3日間ブース出展
 ブルーリボン(大腸がん)、ペリウインクルリボン(胃がん)、ティール&ホワイトリボン(子宮頸がん)、エメラルドグリーンリボン(肝がん)の4ブースにて啓発グッズや啓発グッズを販売!3日間で10万円以上のグッズ売上でした!グッズの売上金は、CRCの疾患啓発活動に充てさせていただきます。



パネリストの皆さんと記念写真。



■2017年10月21日(土) パネルディスカッション

大腸がんの啓発活動「ブルーリボンキャンペーン」(以下、「BRC」)について発表させていただきます。

BRCの主な特長は、全国47都道府県に99名のBRCアンバサダー(大腸がんの治療医)が就任し、医療者や地域の支援者等とともに啓発活動を推進していることです。

ちややまちキャンサーフォーラム2017
 近畿エリアのkey局、MBS毎日放送と共催

■2017年10月28日(土)

3年目となる「ちややまちキャンサーフォーラム」をMBS本社ちややまちプラザで開催。800名を超える方にご来場いただき、会場は多くの方にぎわいました。



参加者からの感想

- 今自分が受けている治療が最良だと知れたことがいちばん良かった。
- あふれる情報の中で正しい判断を知識を得ることが必要だと改めて感じました。具体的でたいへん参考になりました。

学ぶ セミナー 場所: ちゃプラスステージ

11:00 - 13:00 ① 最新免疫チェックポイント阻害薬治療
 保険適用されている薬やどのがん種に適用が詳しく解説
 中川和彦 瀬戸貴司 坂井次郎

14:30 - 16:30 ② インチキ治療に惑わされるな!
 医療否定本エビデンスのない治療にSTOP!!
 柳保範之 大野 賢 藤 二千雄

知る セミナー 場所: MBS本社地下1階AVルーム

10:30 - 12:00 ④ 前立腺がん
 男性に最も多いがんですご夫婦やご家族でも参加しませんか?
 福森雄治

13:30 - 15:00 ⑤ 乳がんI (ホルモン感受性・HER2陽性)
 タイプ別乳がんについて詳しく解説
 三好康雄

15:30 - 16:30 ⑥ 乳がんII (トリプルネガティブ)
 トリプルネガティブ乳がんについて詳しく紹介します
 鎌谷真司



特別協力: 日本イーライリリー株式会社

もっと知ってほしい肺がんのこと 2017 in 青森

2017年10月29日(日)
会場：ラ・プラス青森
来場者数：73名



総合司会：田坂 定智 (弘前大学医学部附属病院 呼吸器内科)
14:00~14:05 開会挨拶 田坂 定智 (弘前大学医学部附属病院 呼吸器内科)
14:05~14:25 肺がんの免疫治療について 中川 英之 (国立弘前病院 呼吸器科)
14:25~14:45 肺がんの分子標的薬治療について 齋藤 景章 (弘前大学医学部附属病院 呼吸器内科)
14:45~15:05 肺がんの化学療法・支持療法について 長谷川 幸祐 (青森県立中央病院 呼吸器内科)
15:05~15:15 肺がん患者連絡会の紹介 長谷川 一男 (NPO法人肺がん患者の会 ワンステップ)
15:15~15:30 休憩 (質疑応答)
15:30~16:10 Q&A/ディスカッション 【座 長】田坂 定智 【パネリスト】中川 英之 / 齋藤 景章 / 長谷川 幸祐 / 安ヶ野 英夫 (八戸市立市民病院 呼吸器科・内科) / 長谷川一男
16:10~16:15 開会挨拶 認定NPO法人がんサテットジャパン
16:30~18:00 【肺がん患者さん・ご家族のおしゃべり会】 【ファシリテーター】長谷川一男

もっと知ってほしい肺がんのこと 2017 in 京都

2017年9月3日(日)
会場：コープイン京都
来場者数：152名



総合司会：平井 豊博 (京都大学医学部附属病院 呼吸器内科)
14:00~14:05 開会挨拶 平井 豊博 (京都大学医学部附属病院 呼吸器内科)
14:05~14:30 肺がんの免疫治療について 金 永孝 (京都大学医学部附属病院 呼吸器内科)
14:30~14:55 肺がんの分子標的薬治療について 山田 忠明 (京都府立医科大学附属病院 呼吸器内科)
14:55~15:20 肺がんの化学療法・支持療法について 高山 浩一 (京都府立医科大学附属病院 呼吸器内科)
15:20~15:25 肺がん患者連絡会の紹介 長谷川 一男 (NPO法人肺がん患者の会 ワンステップ)
15:25~15:40 休憩
15:40~16:15 Q&A/ディスカッション 【座 長】平井 豊博 【パネリスト】金 永孝 / 山田 忠明 / 高山 浩一 / 長谷川一男
16:15~16:20 開会挨拶 認定NPO法人がんサテットジャパン
16:30~18:00 【肺がん患者さん・ご家族のおしゃべり会】

第4回 東京医科歯科大学「がんを考える」市民公開講座 テーマ：正しく知ろう！「化学療法」 (開催協力&ブース出展：がんサテットジャパン)

2017年10月1日(日)
会場：東京医科歯科大学 M&D
タワー2F 鈴木章夫記念講堂
来場者数：436名



【セミナープログラム】鈴木章夫記念講堂
司会 坂下 博之 東京医科歯科大学大学院 臨床腫瘍学分野
13:00-13:05 開会挨拶
13:05-13:30 ①「化学療法」ってどんなもの？ 何のため？ 石黒 めぐみ 東京医科歯科大学医学部附属病院 腫瘍化学療法科
13:30-14:00 ②最近話題の治療について、解説します (免疫療法/ブレンジション/ゲムティン) 池田 尚博 東京医科歯科大学医学部附属病院 腫瘍センター
14:00-14:20 ③「がん疼痛の治療」の進歩と現状 野里 尚子 東京医科歯科大学医学部附属病院 腫瘍センター
14:20-14:40 ④大事です！化学療法中の「口腔ケア」 古藤 純一 東京医科歯科大学医学部附属病院 口腔ケア外来
14:40-15:00 休憩
15:00-16:00 ⑤化学療法をしながらの生活 パネリスト：石川 敬昭 医学部附属病院 腫瘍化学療法科 橋爪 敏子 病院がん化学療法看護認定看護士 有本 正子 病院 臨床栄養部 山田 眞紀子 病院 健康センター 社会福祉士
16:00-16:30 ⑥治療を受ける際の意思決定のサポート 三宅 智 東京医科歯科大学医学部附属病院 腫瘍センター 学長
16:30-16:35 閉会挨拶 川崎 つま子 東京医科歯科大学医学部附属病院 看護部長

もっと話そう前立腺がん転移のこと くらしを守る早期対応のすすめ

2017年9月9日(土)
会場：ウインクあいち1102
来場者数：114名



総合司会：川上 祥子 (認定NPO法人がんサテットジャパン 理事 看護士) 座 長：後藤 百万 (名古屋大学医学部附属病院 泌尿器科)
15:00~15:05 開会挨拶 武内 裕 (NPO法人結核治療会)
15:05~15:35 ①「もっと知ってほしい前立腺がん転移のこと」 佐藤 威文 (佐藤威文泌尿器クリニック 院長)
15:35~16:05 ②「もっと話そう前立腺がん転移のこと～こんな病どう対処すればいい!?～」 加藤 真史 (名古屋大学医学部附属病院 泌尿科)
16:05~16:20 ③「治療と向き合う上での大切なこと～腎臓を保護して～」 川崎 眞一 (名古屋大学医学部附属病院)
16:20~16:30 休憩
16:30~16:55 Q&A パネルディスカッション パネリスト：後藤 百万 / 佐藤 威文 / 加藤 真史 / 川崎 眞一 / 武内 裕 司 会：川上 祥子
16:55~17:00 閉会挨拶 川上 祥子
17:00~18:00 交流会 セミナー参加者のおしゃべり会

もっと知ってほしい胃がんのこと 2017 in 埼玉

2017年12月9日(土)
会場：浦和コルソホール
来場者数：150名



総合司会：町 亞聖 (フリーアナウンサー)
13:00~13:05 開会挨拶 坂本 裕彦 (埼玉県立がんセンター 病棟主任)
13:05~13:15 ①はじめての 埼玉県のがん対策の現状と展望 平塚 善之 (埼玉県がん対策推進センター 学長)
13:15~13:40 ②胃がんの予防と診断、そしてあきらめない胃がん治療 持本 邦人 (埼玉医科大学総合医療センター 消化器一般科)
13:40~14:05 ③胃がんの外科治療 ～からだにやさしい腹腔鏡手術～ 坂本 信一 (埼玉医科大学総合医療センター 消化器外科)
14:05~14:30 ④胃がんの化学療法について ～大切な治療期間の過ごし方～ 原 浩樹 (埼玉県立がんセンター 消化器内科)
14:30~14:55 ⑤がん治療と医療費、就労について ～知って役立つ制度のこと～ 近藤 明夫 (社会保険労務士/がん治療相談員)
14:55~15:05 休憩
15:05~15:55 Q&Aトークセッション ～希望を持って治療を受けるために～ 【司会】町 亞聖 【パネリスト】坂本 裕彦 / 持本 邦人 坂本 信一 / 原 浩樹 / 近藤 明夫
15:55~16:00 閉会挨拶 認定NPO法人がんサテットジャパン

もっと知ってほしい胃がんのこと 2017 in 岡山

2017年10月8日(日)
会場：三木記念ホール
来場者数：139名



総合司会：遠藤 寛子 (フリーアナウンサー)
13:00~13:10 開会挨拶 岡山県のがん対策の現状と展望 藤原 敬典 (岡山大学大学院 医学部 がん研究科 がん学専攻 がん学)
13:10~13:35 ①胃がん予防と早期治療 ～ピロリ菌と内視鏡の話～ 藤田 裕之 (岡山大学病院 消化器内科)
13:35~14:00 ②最新の胃がん手術について ～体に優しく、治療を目指して～ 野川 雅典 (岡山大学病院 消化器治療センター)
14:00~14:25 ③胃がんの抗がん剤治療 ～つらくない治療を目指して～ 藤原 淳一郎 (岡山県立総合医療センター)
14:25~14:45 ④がんとお金のお話し ～きつと見つかるとあなたにあった医療制度～ 日笠 みどり (岡山県社会保険労務士会 会長)
14:45~14:55 休憩
14:55~15:55 Q&Aトークセッション ～希望を持って治療を受けるために～ 【司会】遠藤 寛子 【パネリスト】藤原 敬典 / 藤田 裕之 / 野川 雅典 藤原 淳一郎 / 日笠 みどり
15:55~16:00 閉会挨拶 認定NPO法人がんサテットジャパン

会場：国立がん研究センター
希少がんセンター 待合
※動画をWEBにて公開しています。
詳細はイベントレポートページよりアクセスください。



2017年7月～12月
希少がん Meet the Expert

 12月 AYA 世代の 希少がん	 11月 脳腫瘍	 10月 原発不明がん	 9月 神経内分泌腫瘍	 8月 小腸がん	 7月 胸腺腫・ 胸腺がん
----------------------------	----------------	-------------------	-------------------	----------------	------------------------

■北海道キャラバン

2017年11月19日(日)
会場：札幌ことに乳腺クリニック
参加者数：32名



※手に持っている数字は乳がん罹患した年齢です

■宮城キャラバン

2017年9月9日(土)
会場：仙台市市民活動サポートセンター
参加者数：24名



■愛知キャラバン

2017年12月2日(土)
会場：一宮西病院 参加者数：19名



参加者からの感想

- 同世代の仲間がこんなにいることに、勇気をもらいました
- たくさん泣いてスッキリしたのでまた明日から頑張れそうです
- この世代ならではの悩みを話し合うことができてよかった

企画：がんネットワークジャパン
運営：若年性乳がんサポートコミュニティ Pink Ring
本イベントはGapの乳がんサバイバー支援のチャリティキャンペーン「ピンク色の未来をつくる」による寄付で開催

次回は鹿児島キャラバン！
2018年3月11日(日)

会場：さがらパース通りクリニックはくあいホール
申し込みはこちら：<https://ws.formzu.net/dist/S67335890/>



若年性乳がん体験者のおしゃべり会全国キャラバン
日本初の試みである本イベントは各地のテレビ・新聞等にも多数取り上げられました！

もっと

冊子 知ってほしいシリーズ

全国の施設でご利用いただいています。一部、ご紹介させていただきます。



冊子
活用例

がん相談支援センターや待合室など



イベントフライヤー

病院スタッフの皆様へ

冊子をご希望の方は、ホームページよりお問い合わせください。
また、市民公開講座や、相談会など開催の際は、後援名義や、ロゴ使用許諾など承りますので、お気軽にお問い合わせください。

ロゴ
使用

第8回 リリー・オンコロジー・オン・キャンパス
がんと生きる、わたしの物語。
絵画 × 写真 × 絵手紙コンテスト

応募登録期間
2017年7月18日(火)～2018年1月31日(水)
リリー・オンコロジー・オン・キャンパス事務局
MAIL info@locj.jp ☎ 0120-78-1307 10:00～18:00
平日(土日祝日除く)

主催 後援
日本イーライリリー株式会社 厚生労働省 / 公益財団法人 日本対がん協会
兵庫県 / 神戸市 / 大阪市

コンテスト作品募集 当日消印有効
あなたの物語を表現してみませんか。

詳しくは「リリー・オンコロジー・オン・キャンパス」ウェブサイトをご覧ください。
www.locj.jp



～小児がん、AYA世代のがん 啓発・研究推進プロジェクト～

Lemonadestand Japan

もっと知ってほしい小児がんのこと

詳しいレポートは

レモネードスタンドジャパン

検索

「小児がん」ってどんな病気？小児がん支援のレモネードスタンド体験イベントを開催！
2017年夏、地域の小・中・高校生向けに小児がんの啓発イベントを開催しました。
小児がん治療医による「小児がんってどんな病気？」という30分の授業＋小児がん体験者による体験談、レモネード作りとレモネードスタンド体験を行いました。

子ども達には参加証明書を発行！

神奈川県立こども医療センター
 ～もっと知ってほしい小児がんのこと
 小児がん支援のレモネードスタンド
 2017年7月30日(日)
 会場 神奈川県立こども医療センター
 周産期棟 第2会議室
 参加者数 38名＋見学27名
 共催 神奈川県立こども医療センター
 キャンサernetジャパン



聖路加国際病院 夏休み公開講座
 ～小児がん支援のレモネードスタンド体験
 2017年7月28日(金)
 会場 聖路加国際病院 本館2F
 トイスラーホール
 参加者数 46名＋見学18名
 共催 聖路加国際病院
 キャンサernetジャパン



日本医科大学千葉北総病院 夏休み公開講座
 ～小児がん支援のレモネードスタンド
 2017年7月15日(土)
 会場 日本医科大学千葉北総病院
 災害研修センター
 参加者数 37名＋見学21名
 共催 日本医科大学千葉北総病院
 キャンサernetジャパン



埼玉県民のための医療セミナー
 ～もっと知ってほしい小児がんのこと
 小児がん支援のレモネードスタンド
 2017年9月23日(土・祝)
 会場 With Youさいたまセミナー室
 参加者数 36名＋見学16名
 共催 埼玉県立小児医療センター
 埼玉県男女共同参画推進センター
 キャンサernetジャパン



東京都立小児総合医療センター 夏休み公開講座
 ～小児がん支援のレモネードスタンド
 2017年8月27日(日)
 会場 東京都立小児総合医療センター
 1F 講堂 フォレスト
 参加者数 25名＋見学12名
 共催 東京都立小児総合医療センター
 キャンサernetジャパン

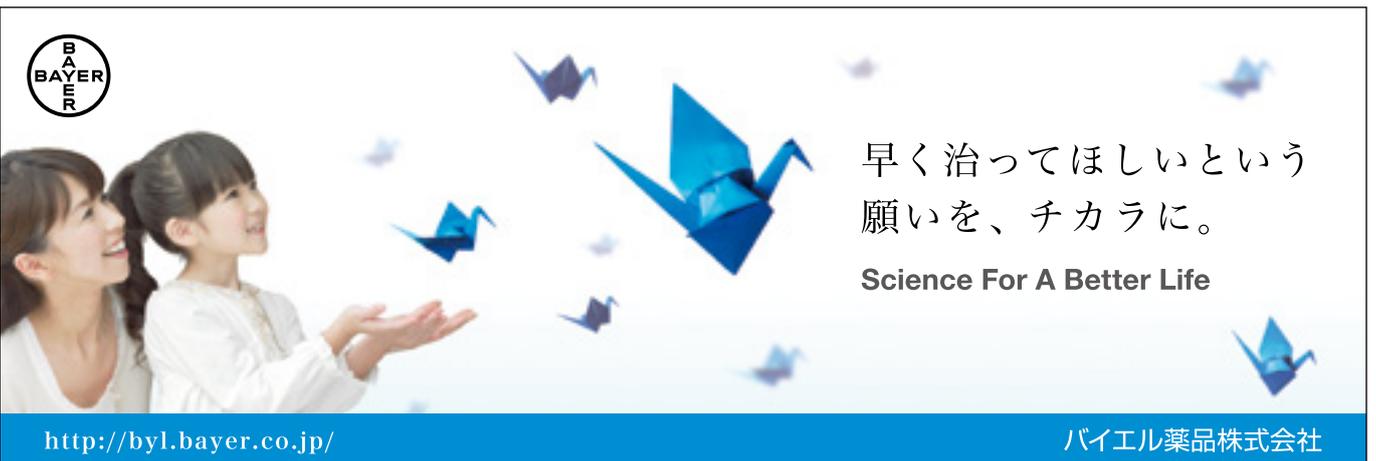


国立成育医療研究センター 夏休み公開講座
 ～小児がん支援のレモネードスタンド
 2017年8月6日(日)
 会場 国立成育医療研究センター
 研究所2F セミナールーム
 参加者数 34名＋見学21名
 共催 国立成育医療研究センター
 キャンサernetジャパン



参加者からの感想

- 小児がんのことは全然知らなかったけれど自分がかかってしまうかもしれないなんて驚いた。
- 0～15歳で手術を経験するのはとても怖いと思うから小児がんの人も小児がんじゃない人もみんな協力するのが大切だと思った。
- レモネードスタンドは誰もが手軽にすることのできる募金活動なんだと感じました。



BAYER

早く治ってほしいという
 願いを、チカラに。

Science For A Better Life

<http://byl.bayer.co.jp/> バイエル薬品株式会社

EVENTS

<http://www.cancernet.jp/event>

もっと知ってほしい胃がんのこと in 鹿児島
1月27日(土) 13:00-16:00 (開場 12:30)
【会場】鹿児島県医師会館 大ホール



高知大学市民公開講座
もっと知ってほしいがんに対する放射線検査と治療のこと
2月3日(土) 10:00-12:05 (開場 9:30)
【会場】高知市文化プラザ かるぼーと 小ホール

ブルーリボンキャラバン
もっと知ってほしい大腸がんのこと 2018in 東京
3月3日(土) 13:00-16:50 (開場 12:00)
【会場】東京医科歯科大学 M&D タワー 2F 鈴木章夫記念講堂



【医療者対象】がん患者・家族(遺族)になって
気づいた医療者とのコミュニケーション
3月3日(土) 15:00- (開場 14:30)
【会場】大阪 ブリーゼプラザ小ホール

一般社団法人日本外科学会 第118回定期学術集会
市民公開講座
4月8日(日) 13:30-
【会場】コングレスクエア日本橋

もっと知ってほしい肺がんのこと in 呉
4月22日(日) 13:00-16:30 (開場 12:30)
【会場】くれ絆ホール (呉市役所 庁舎内)



第5回 Over Cancer Together
がんサバイバー・スピーキング・セミナー
5月19日(土) 10:00-16:30 (※事前に選考があります)
【会場】ホテルマイステイズ御茶ノ水 コンファレンスセンター



希少がん Meet the Expert

毎月第1、3金曜日 19:00-20:30
【会場】国立がん研究センター 希少がんセンター待合

1月5日	第13回 悪性黒色腫(メラノーマ)
1月19日	第14回 GIST(消化管間質腫瘍)
2月2日	第15回 肉腫(サルコーマ)～子宮の肉腫～
2月16日	第16回 希少がんと治験
3月2日	第17回 慢性リンパ性白血球病と類縁疾患
3月16日	第18回 肉腫(サルコーマ)～軟部の肉腫～
4月6日	第19回 脳神経内分泌腫瘍
4月20日	第20回 肉腫(サルコーマ)～小児期・思春期・若年成人(AYA)世代～
5月18日	第21回 悪性胸膜中皮腫
6月1日	第22回 小児がんの治療
6月15日	第23回 肉腫(サルコーマ)～骨の肉腫～

7月以降のスケジュールは CNJ イベントページへアクセス!

ジャパンキャンサーフォーラム 2018
8月11日(土)・12日(日)
【会場】国立がん研究センター 築地キャンパス 新研究棟



1月 子宮頸がん ティール&ホワイトリボン	2月 胆道がん ケリーグリーンリボン	3月 多発性骨髄腫 パーガンディー リボン 腎がん オレンジ リボン 大腸がん ブルーリボン	4月 頭頸部がん パーガンディー& アイボリーリボン 食道がん ペリウィンクル リボン 精巣腫瘍 オーキッドリボン
5月 皮膚がん ブラックリボン	6月 骨・軟部肉腫 イエローリボン	7月 膀胱がん マリーゴールド&ブルー パーブルリボン	8月 なし
9月 子宮体がん ピーチリボン 悪性リンパ腫 ライムグリーンリボン 小児がん ゴールドリボン 卵巣がん ティールリボン 前立腺がん ライトブルーリボン	10月 肝がん エマラウド グリーンリボン 乳がん ピンクリボン	11月 膵がん パープルリボン 胃がん ペリウィンクル リボン 肺がん パールリボン	12月 なし



11月	前立腺がんをはじめとする 男性疾患啓発月間 モーベンバー (Movember)
2/4	World Cancer Day
2/15	国際小児がんデー
6/12	レモネードスタンドデー (小児)

※主に米国の啓発月間を参考に作成。他にも啓発日はあります。

海外がん TOPICS

がん治療の飛躍的進歩をめざす米国のムーンショット計画

米国の「がんムーンショット計画」は、2016年にオバマ大統領が発表した構想です。かつて人類を月におくるという壮大な構想であるアポロ計画を、ムーンショットと呼びました。2012年に MD アンダーソンがんセンターが、研究員や医師、専門家を結集し、難治性がんの解決に包括的に取り組むムーンショット計画を提唱し、それに触発される形で国をあげてあらゆる角度から「がんの治癒を目指す」構想に発展させたのです。

ゲノム解析、ビックデータ、免疫療法などの新たな治療法、プレシジョン(精密)医療、世界中で行われている臨床試験と新薬開発など、科学の進歩は目覚ましいのに、がんを根絶することができないもどかしさ。官民、研究者、医師、バイオ技術や製薬会社、医療機関、患者団体が個別に取り組むのではなく、こうした関係者がこれまでになく横の連携を図り、無駄な手続きは排除して、10年分の研究成果を5年で患者に届けることを目指しています。米国議会は今後7年のがん研究費として18億ドル(約2千億円)の予算措置も決定しています。

がんは誰もが罹患する可能性のある病気です。母親を卵巣がんでなくしたオバマ大統領は、2015年5月に長男のボー・バイデン氏を脳腫瘍(膠芽腫)で失ったジョー・バイデン副大統領(当時)に、このムーンショット計画の推進を託しました。その後、トランプ政権に変わりましたが、バイデン元副大統領は全米の企業や研究者、医療機関などへの働きかけを続けてきました。

2017年10月には、米国立衛生研究所がムーンショット計画の一環として、11のバイオ製薬企業とのパートナーシップで、2.15億ドル(約240億円)を投入し、新たな免疫療法の開発を開始すると発表しています。

ムーンショット計画には、がんを治癒させるための研究推進だけでなく、がんワクチン開発を含むがん予防や診断法の開発、患者の臨床試験や新薬へのアクセス向上、緩和ケアを含む患者サポート、ケアへの改善、サバイバーケアへの取り組みなど、がん治療のあらゆる側面が含まれています。

情報提供/海外がん情報リファレンス

もっと
知ってほしい

啓発リボンのこと ～ Awareness ribbons ～

乳がんの啓発活動のシンボル「ピンクリボン」は有名ですが、そのほかのがんにも、国際的な啓発強化月間があります。海外の患者団体や支援団体が色を決め、啓発活動が世界的に広がっているようです。それぞれのテーマカラーで啓発活動をしてみませんか？

海外の患者団体や支援団体が色を決め、啓発活動が世界的に広がっているようです。

それぞれのテーマカラーで啓発活動をしてみませんか？

もっと

これまでに発行した 冊子 知ってほしいシリーズ

冊子は、全国のがん診療連携拠点病院の相談支援センターへ発送しています。
病院で見かけた方は、ぜひ手にとってご覧ください。



出版物のご紹介
QRコード



冊子は下記から無料で
ダウンロードできます。
<http://www.cancernet.jp/publish>